



# 南小だより さわやかなあいさつ 明るい教室 きれいな学校

学校教育目標「心豊かにたくましく生きる児童の育成」

令和4年2月1日



かしこい子 やさしい子 たくましい子

第12号

今月の生活目標 「寒さに負けず元気にすごそう」

川越市立高階南小学校

## 短い3学期、もう一度学習の基礎基本の徹底を

肥留間 智子



早いもので、今年もひと月が終わりました。新型コロナウイルス感染症のオミクロン株の勢いはすさまじく、本校でも学級閉鎖や拡大PCR検査等を行ってきました。保護者の皆様、地域の皆様には、ご心配をおかけしつつ様々な場面でのご理解ご協力に感謝いたします。ありがとうございます。

これから学年末を迎え、今年度のまとめとしての大切な学習や行事などが行われる予定ですが、2月13日まではまん延防止等重点措置期間であり、その先の状況も日々刻々と変化する状態から、教育活動を予定通り計画していても、方法を変えたりやむを得ず中止になったりということも考えられます。本来ならば学校から文書でお知らせできれば良いのですが、緊急な対応が多くメールにて配信をさせていただいております。メールでの連絡が多くなりご迷惑をおかけしますが、こまめにご確認をお願いいたします。どうぞご理解ご協力をお願いいたします。



さて、今回は子どもたちの学習の様子をお伝えします。年度当初新しい学級になって、最初に行ったことは、机、椅子のサイズが子どもたちに合っているかの確認です。チェックポイントは、「椅子に深く腰掛けているか」そのときに「足の裏全面が床についているか」です。椅子が身体に合っていないと、足がぶらぶらしたり座面の前の方に座ったりするので、身体が固定されずに落ち着いて学習ができません。さらに文字を書くとなると、良い姿勢を取らなければなりません。

良い姿勢を取ることができないので、文字もうまく書くことができないのです。机のサイズには規格があるので、一人一人にぴったり合わせることはできませんが、全員体形に合ったものを使用しています。「川越授業スタンダード」では、「書く活動」を大切にしています。特に、自分のノートには、自分の考えや友達の考え、学級の考えを書いています。



先日、講演会で「姿勢が悪いと長い時間文字を書くことができない」という話を伺いました。子どもたちをよく見ると、左右のどちらかに体重をかけていたり椅子の座面の隅に座っていたりなど、特徴のある座り方をしているのを見かけます。また、鉛筆の持ち方も同じです。鉛筆は、親指と人差し指と中指の3本で支えて文字を書きます。しかし、「親指と人差し指の2本で支えている」「指先ではなく指の腹で支えている」などの持ち方を見かけます。鉛筆の持ち方も正しくないと、長い時間文字を書くことは難しいそうです。

本来考える力を十分に持っていても、表現することができると相手に伝わりません。

「話す」という活動で伝えることも必要ですが、「書く」という活動は、これから成長し学年が上がっていくことを考えると、自分自身を表現する力、伝える力として欠かせないものになります。小学生の時から、「書く」ことが楽しめるように、学校でもノートづくりを中心に指導して、学年のまとめに取り組んでいきたいと思っております。ご家庭でもお子さんの姿勢や鉛筆の持ち方など、気をつけて見ていただき、学校と情報共有しながら子どもたちを見守り支援していただけるとありがたいです。



### 校内書き初め展(保護者会同時開催)

1月末日に予定されていた書き初め展は、感染症対策により、保護者会の期間に同時開催することになりました。1、2年生はフェルトペンで、3～6年生は書き初め用の太い筆で、大きく伸び伸びと姿勢良く書きました。一文字一文字丁寧に心を込めて書いた子どもたちの作品を是非ご覧ください。



### 「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等

### 対応助成金・支援金」期間延長について

以前もお知らせしましたが、「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金」「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応支援金(委託を受けて個人で仕事をする方向け)」「小学校休業等対応助成金に関する特別相談窓口」について、厚生労働省のホームページに詳細が記載されています。ご確認をお願いいたします。